

文化財を火災から守れ！文化財防火デー



訓練の最後に如来堂に向けて行われた一斉放水（一身田町の専修寺で）

津消防タイムズ

第 2 号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療案内
☎256-1199

貴重な財産である文化財を火災から守るとともに、国民一般の文化財保護思想の普及と高揚を図ることを目的として、一月二十六日は「文化財防火デー」に指定され、毎年全国各地で、文化財を火災から保護する運動が展開されています。

当消防本部でもこの日を中心に、管内のお寺や神社など計四十か所で防火訓練や防火診断、立入検査、防火教室などを実施しました。

一月二十六日には、津市一身田町の真宗高田派本山専修寺で大規模な防火訓練を行い、消防職員をはじめ、市内北郊地区の消防団員、高田本山自衛消防隊、一身田地区自主防災協議会・婦人防火推進委員会、高田幼稚園・高田保育園の園児など約二百人が参加して、本番さながらの訓練に取り組みました。

訓練は、震度6強の地震が発生し、如来堂から出火したとの想定で行われ、自衛消防隊・住民の方々による重要物品の搬



一志町の平楽寺で行われた
防火訓練 (1/28)



八町の谷川土清旧宅で行われた
防火訓練 (1/25)

出や負傷者の搬送、バケツリレ、初期消火訓練の後、最後に消防車両で一斉放水を行いました。訓練終了後、鎌田繁一消防次長は「多くの人が訓練に参加していただき誠に心強い。今後地域の皆様と消防が一体感をもって文化財を守っていきたい」と講評しました。